

定例会議資料	令和3年度高知県警察災害警備訓練等の実施について	令和3年11月17日 災害対策課
<p>1 令和3年度高知県警察災害警備訓練</p> <p>(1) 訓練目的 第二機動隊員を主な対象として、適正な災害警備活動用装備資機材の取扱いや救出救助要領を習得させることにより、各署等の災害対処能力の強化を図る。</p> <p>(2) 訓練日時及び場所 ア 令和3年12月1日(水)午前10時から午後3時までの間 小雨決行。予備日：12月2日(木) イ 警察学校グラウンド</p> <p>(3) 訓練対象 第二機動隊員及び警察学校学生</p> <p>(4) 訓練内容 ア 習熟度確認 装備資機材の取扱要領等 イ 基本訓練 (ア) 土砂排除訓練 (イ) 要救助者に対するアプローチ救助訓練及び初期評価対応訓練 ウ 応用訓練 倒壊家屋及び事故車両からの要救助者の救出救助</p> <p>2 広域緊急援助隊等を対象とする災害警備訓練</p> <p>(1) 訓練目的 全国で発生する大規模災害において適確な救助を行うため、警察災害派遣隊の救出救助能力の強化を図る。</p> <p>(2) 訓練日時及び場所 ア 令和3年12月2日(木)午前10時から午後3時までの間 イ 南国市大堀乙 吾岡山文化の森公園</p> <p>(3) 訓練体制 ア 訓練指導 警察庁指定広域技能指導官(警視庁警備部災害対策課所属) イ 訓練対象 広域緊急援助隊(警備部隊)、緊急災害警備隊、広域警察航空隊及び機動警察通信隊</p> <p>(4) 訓練内容 ア 現地指揮所設置運営訓練 イ ヘリによるホイスト救助訓練 ウ 土砂災害現場からの救助訓練 エ 映像送受信訓練</p>		

警察災害派遣隊の概要

東日本大震災への対応を教訓とし、大規模災害発生時における広域的な部隊運用の拡充を図るため、平成24年5月より、即応部隊（約1万人）と一般部隊から構成された警察災害派遣隊を編成

警察災害派遣隊

即応部隊

約1万人

広域緊急援助隊

2,600



警備部隊

被災者の救出救助

1,500



交通部隊

緊急交通路の確保

1,500



刑事部隊

検視・身元確認等

広域警察航空隊

500



機動警察通信隊

1,200



緊急災害警備隊

3,000



一般部隊

特別警備部隊



搜索、警戒警ら

特別交通部隊



交通整理・規制

特別自動車警ら部隊



パトロール

特別生活安全部隊



相談対応

特別機動捜査部隊



初動捜査

支援対策部隊



補給・受援対策

身元確認支援部隊

身元確認の資料収集

情報通信支援部隊

通信施設の復旧